

# エコパーク通信

平成29年7月号

ミッキーマウスの木



ルトベキア・ヒルタ



リュウゼツランの花



ゼフィランサス



オオトリトマ



セイヨウアサガオ



港・オアシス エコパーク  
エコクラブ会員 遠藤ます

今から20年程前の話です。環境問題に取り組む御前崎エコクラブは実践活動の一つとして、マリンパークの防波堤沿いの花壇づくりをしました。その後続いて、「港・中央公園」の池の整備も始めました。その場所は、山桃・夾竹桃（わうけつり）・カイズカイブキ・山茶花（ぢやんか）等の緑地帯でしたが、そこが色とりどりの花が咲く公園になれば、大勢の人が憩える場所になるのではないかと、また港のイメージが変わり楽しい和らいだものになるのではないかとこの思いがありました。

まず最初に、御前崎土木事務所（現在は、御前崎港管理事務所）とのワークショップの中で計画を立て、ピオトープ作りから汗を流しました。葎（アザミ）やセイタカアワダチソウの除去、枝切り、産廃整理等の手作業は、その当時若かった会員男女のパワー全開でも、数年の月日を必要としました。

この「港・中央公園」が「御前崎エコパーク」という呼びやすい名前の公園になり、生け花が大好きな私がしてきた事は、茨城県にある親戚から分けてもらった「オオトリトマ」という植物を畑で増やして公園に植える事、また「ニオイバンマツリ」も挿し木で増やして持って行く事でした。会員達は、それぞれ大事に育てた花木を寄贈しました。また旅先で購入し、寄贈した植物も随時増えてきました。そして、「エコパーク花・木・鳥・蝶」の冊子をまとめてくださった県職員の鈴木さんのご尽力により、800枚の写真が飾られた花小屋にいっぱい写真の完成を見ることが出来ました。

見事な花を見るたびに持ってきてくれた方々の顔が浮かび話に花が咲きます。当時は、この先どうなるかという思いでしたが、なんとかなってきました。これから先もなんとかなるのでしょうか。

オオトリトマ・アガパンサス



ヤブカンゾウ



ハンゲシヨウ



ジニア



ゼラニウム



モミジアオイ



御前崎エコクラブ会長 山本貴美枝  
静岡県御前崎港管理事務所